

海外安全対策情報

【2021年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様には、子供に対する性犯罪や地下鉄等での痴漢行為、投資話や
警察官を装った振り込め詐欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの特殊詐欺、麻薬
などの違法薬物犯罪が後を絶たない状況にあります。さらに、飲酒や交通マナーに伴
う揉め事が多発傾向にあり、特に飲酒に起因した事案では、傷害事件や警察官に対す
る公務執行妨害等に発展したケースも報道されています。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。また、売春などの
性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 痴漢事件（済南市・青島市）

ア 駅構内における痴漢事件（済南市）

3月31日、女性から済南市公安局に通報があり、地下鉄の駅構内で痴漢をされ
たと訴えたことから同局が捜査をした結果、男が某駅構内のエスカレーター付近
で痴漢をしている映像を発見、同男を割り出して検挙した。同男は、行政拘留10
日に処せられた。

海外安全対策情報

イ 電車内における痴漢事件（青島市）

4月5日午後5時頃、地下鉄3号線の電車内で女性に痴漢行為をした男が検挙された。同男は、中山公園駅のホームで女性を物色し、被害女性を見つけて同じ車両に乗り込み、犯行に及んだという。被害女性が、その場ですぐに警察に通報したことから、同男は五四広場駅において臨場した警察官に検挙された。

(2) 特殊詐欺事件（青島市・済南市）

ア 貸金詐欺事件（青島市）

3月25日、青島市市北公安分局は、友人を騙してネット金融で借金をさせ、金を自分の借金の返済に充てていたとして男を検挙した。同男には100万元強の借金があり、友人に対し「ネット金融と協力関係にあり、貸金実績を上げるために金を借りてもらいたい。金には手をつけないので損は無い。」などと頼み、12回に分けて40万元を借りさせ、自分の口座に振り込ませていたという。同男は、同様の手口で数名の友人から合計300万元余りを騙し取り、借金の返済や宝くじの購入に充てていた。

イ 振り込め詐欺未遂事件（済南市）

6月8日、済南市公安局刑事支隊らは、詐欺電話を受けた女性が銀行で2万元を振り込む直前で阻止した。同女性は同日、南京市公安局戸籍課の警察官を名乗る者から電話を受け、「旅券に不正出国の容疑がある。銀行口座の2万元を“安全口座”に移し、同時に融資を申請して保証金を納めろ。さもなければ刑事責任を追及する。」などと要求され、微信をログアウトし、誰からの電話にも出ないよう指示された。済南市刑事大隊反詐欺中隊は、同女性の慌てる動きに疑念を持った同僚からの通報を受け、同女性に対する継続した連絡と口座の一時凍結等の措置を実施し、同女性が銀行に至る直前で連絡を取ることに成功し、偽警察であった旨を伝えて被害を防止した。

ウ ネットアイドルのファンを偽装した電信詐欺事件（青島市）

4月28日、青島市公安局黄島分局は、徐州において人気ネットアイドルのファンを偽装し、女性から金を騙し取ったとして、20歳の男を検挙した。被疑者の供述によれば、ネットアイドルが生放送をする際、プレゼントを多く出すファンとアイドルとの信頼関係が厚いことに気付き、特定のファンになりすます詐欺を思いついたという。実在のファンを偽装し、借金名目や口座振替などあらゆる理由でアイドルに金銭を支払わせる手口で、これまでに14人の女性から約9万元を騙し取っていた。

(3) 大規模薬物取締り事件（済南市）

2020年9月1日、済南市公安局は200名の警察官で21班の特別部隊を編成し、莱芜、鋼城、章丘、高新の4地区において同時に強制捜査を行った。3日間に及ぶ活動で薬物犯罪者60余人を検挙し、覚せい剤や各種薬物使用器具を押収したほか、継続捜査でさらに17人を検挙した。本件捜査により、計77人の薬物犯罪者を検挙

海外安全対策情報

し、十数年来の薬物事犯で最多記録となった。被疑者らは、“埋雷”方式で薬物を取引しており、1gから10gの薬物を特定の場所に隠し、支払いが済んだ後に隠した場所を伝えて取りに行かせることで、会わず、通話せず、数十秒間のうちに薬物取引を完成させていた。

(4) 飲酒に起因した公務執行妨害事件（青島市）

3月23日14時ころ、青島市李村駅からマスクを着用しない乗客とトラブルになっているとの通報があった。警察官が現場に赴いたところ、酒に酔った男がマスク着用を拒否しており、現場に到着した警察官を押ししたり、身につけているカメラをたたき落としたりした。男はさらに、警備室に連れて行かれた後も暴れ、警察官の左ほほを殴ったことから、公務執行妨害で拘束され刑事勾留に処せられた。

(5) 電動自転車盗難事件（青島市）

3月29日、青島市城陽区の病院前に駐車していた電動自転車が盗まれたと通報があった。警察が付近の修理店を調べたところ、盗まれた自転車が売られているのを発見したため、売却記録から売り払った男を検挙した。同男は、前日の28日にも電動自転車を盗んで売り払っており、犯行で入手した金は酒を買うのに使ったと供述している。

(6) 高所物品投擲事件（青島市）

6月2日夜、青島市城陽区の某小区で酒瓶が落下してくる事件があった。同小区では、以前にも煙草やゴミが落下してくる事件があり、警察が捜査した結果、同小区9階に住む男が犯行を認めたことから刑事拘留とした。男は、自宅で飲酒中に階下の喧噪や歌声に我慢できず酒瓶を投げたと自供し、生活ゴミの投擲についても認めている。

(7) 大学生を巻き込んだマネーロンダリング事件（煙台市）

5月5日、煙台市公安局が得た情報を基に、煙台警察は威海高新区の別荘を捜索して16名の被疑者をマネーロンダリング容疑で検挙した。同犯行グループに加担したのは煙台市の大学生30人、農工業関係者や無職者200余人で、約1,000万元が電信詐欺グループのためにマネーロンダリングされた。大学生や農工業関係者らは、300～500元の報酬のために犯行グループに加担したと見られ、警察当局は、「たとえ法的知識が少なくても、銀行口座を提供して資金洗浄に協力した場合、情状が悪ければ刑事責任を問われる。」としている。

4. 治安対策等報道

(1) 薬物取締り統計（山東省・青島市）

ア 山東省公安庁によれば、2020年山東省で取り締まった違法薬物事件は1,911件、検挙人員は3,871名であった。山東省で登録されている違法薬物使用歴がある者は11.2万人であり、そのうち72%の8.2万人が3年間違法薬物を使用し

海外安全対策情報

ていない。18歳以下の未成年違法薬物使用者は、最多であった1,091名から大きく減少し29名であった。

イ 青島市薬物対策弁公室は、薬物禁止記念182周年となる6月3日に薬物集中廃棄イベントを開催し、近年に押収した100キロ余りの薬物と、2.5トンに及ぶ薬物生産原料及び製造機器を廃棄した。同発表によれば、昨年から合わせて700件余りの薬物関連事犯を処理し、800余名の被疑者を検挙、押収した各種薬物は300キロ、市検察院による起訴560名、うち556名が裁判により薬物犯罪者として処分された。

ウ 6月24日、青島中級法院は、国際麻薬乱用・不正取引防止デーに向けた報告会を開催し、昨年の薬物犯罪取締り実績を公表した。昨年6月26日以来、青島市全法院で結審した薬物事件は380件450人であり、薬物の密輸、販売、輸送、製造に関する事件が276件346人、使用場所提供が90件90人であった。青島中級法院によれば、昨年来で同法院が結審したのは5件9人、うち死刑4人（執行猶予含む）、無期懲役2人、15年以上有期懲役1人であった。

(2) 電信ネット詐欺取締り統計（山東省・青島市）

ア 2020年、山東省で検挙した電信ネット詐欺は32,823件、検挙人員は17,139名、回復経済損失は45.3億元であった。また、1,549.2万回の詐欺電話を傍受し、30.2万回線の詐欺電話を止め、10.9万個の詐欺ホームページ・アプリを封鎖し、16.4万個の詐欺wechat・QQアカウントを停止した。警告情報を発出して164.6万人の被害を防止し、120.8億元の支払いを止め、41.9億元の犯罪資金を凍結した。

イ 青島市各級公安機関が検挙した電信ネット詐欺は、2,000件強（前年比195%増）、被疑者は1,210名強（同85%増）、警告による未然防止13.7万人、詐欺電話番号320件を削除し、410件を封鎖した。また、9,440の銀行口座、3.78億元の資金を凍結し、被害者に対して累計400万元を返還した。公安機関は現在、詐欺容疑のある口座や電話番号を発見した場合、積極的に被害者に対して連絡を取っていることから、96110からの電話は必ず出るべきである。

(3) 飲酒運転取締り統計（青島市）

2011年5月の「飲酒運転刑罰化」以来、青島市内で取締りを受けた酒気帯び運転は127,891件、酒酔い運転は20,283件、飲酒運転に起因する交通事故は1,848件、死亡者は435名、終身免許失効は252名であり、昨年1年間では、酒気帯び運転が10,939件、酒酔い運転は3,613件であった。飲酒運転違反の70%は農村地区で取締りを受けており、運転者の年齢は35歳から45歳の比率が高い。青島市交通警察では、都市部で21時から24時、農村部で19時から23時、高速道路で0時から5時に重点取り締まりを行っている。